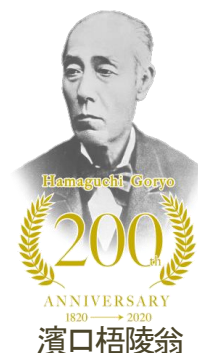


令和2年 8月25日	
資料提供	
担当課	危機管理・消防課
担当者	増谷、小川
電話	073-441-2280



濱口梧陵翁生誕200年記念 「京都大学防災研究所公開講座」を開催します。

京都大学防災研究所と和歌山県の共催により「災害を事前に管理する ～和歌山を襲う大地震にどう向き合うか～」をテーマに開催します。

- ◆概要：和歌山を襲う大地震による様々な自然現象（強い揺れ、大津波、土砂崩れ）で災害が生じる過程を知り、被災する頻度と被災の度合いから許容できる限界を設定した上で、災害の事前・事中・事後において必要な対応を予め想定するなど、災害を事前に管理することの重要性について考えます。
- ◆日時：令和2年10月5日(月)
- ◆会場：和歌山県民文化会館小ホール（和歌山市小松原通一丁目1番地）
- ◆入場料：無料
- ◆定員：150名（要事前申込み）
- ◆対象：一般・実務者・大学生・高校生
- ◆申込み：別添のチラシをご参照ください。
- ◆プログラム

・准教授 伊藤 喜宏	「南海トラフ巨大地震—その地震像と予測可能性」
・准教授 関口 春子	「南海トラフ巨大地震—揺れの予測とその活用」
・准教授 米山 望	「南海トラフ巨大地震に伴う津波複合災害の数値シミュレーション」
・教授 藤田 正治	「地震時および地震後の土砂災害に備える」
・教授 畑山 満則	「危機管理の視点からみる南海トラフ巨大地震への備え」
・教授 牧 紀男	「南海トラフ地震災害からの復興を考える—東日本大震災の教訓と和歌山県での取り組み」

- *感染拡大予防ガイドラインを遵守し、本公開講座を開催します。
- *新型コロナウイルス感染症の影響により、インターネット開催に変更する場合があります。その場合は9月28日までに申込み時に記入された連絡先にお知らせします。